

菓子屋図を文化財に指定

白山神社（金沢）に奉納されている「菓子屋図」（絵馬）が、町指定有形民俗文化財に指定されました（中山町文化財保護条例第31条第1項の規定による）。



「菓子屋図」は、明治19（1886）年に白山神社に奉納された絵馬で、菓子製造・販売を行っていた長崎村の「清松堂」の様子が描かれています。「清松堂」の店舗の所在は、絵馬が描かれた当時、新田町の両国橋付近であったと言われています。

店先で商いを行う者や天秤棒や箱を背負って行商する商売人の姿、人力車に乗ったり洋傘を差す人などが見られ、絵馬から当時の町の賑わいがかがいが知ることができます。このように、当時の町の様子や人々の暮らしを伝える貴重な資料であるとの理由から町指定有形民俗文化財に指定されました。

また、「菓子屋図」は、題材が珍しいものであるため、文化財としてはもちろん、当時の人々の生業（なりわい）を生計を立てていくための仕事（なりわい）を伝える資料としての価値も高く、県内外の博物館、県内各地の企画展に出展されています。

中山中吹奏楽部 アンサンブルコンテストでW金賞

1月19日と20日の2日間、「全日本アンサンブルコンテスト第36回山形県大会」が酒田市民会館希望ホールで開催されました。少人数で息の合った重奏を競い合うこの大会に、地区大会の予選を勝ち抜いて、中山中学校吹奏楽部からパーカッションパートの打楽器4重奏と、木管楽器パートのフルート3重奏の2チームが出場しました。



【フルート3重奏のメンバー】
左から高橋友紀乃さん(1年)、神保李歩さん(2年)、佐藤杏菜さん(2年)



【打楽器4重奏のメンバー】
左から高橋千鶴さん(2年)、鈴木桃子さん(2年)、鈴木悠保さん(1年)、三浦唯奈さん(1年)

大会では、両チームとも日頃の練習の成果を発揮して息の合った美しい演奏を会場に響かせました。結果は、全57チーム中打楽器4重奏が6位、フルート3重奏が14位という好成績。惜しくも東北大会への出場は逃しましたが、両チームとも上位14チームに与えられる金賞に輝き、W金賞という快挙を成し遂げました。

これからの活躍に期待！ 町内在住の高校生が

全日本高校女子サッカー選手権に出場

1月12日から17日にかけて静岡県で開催された「第21回全日本高校女子サッカー選手権大会」に、中山町在住の安藤理紗さんと柏倉ななさんの2人が出場しました。2人は山形城北高校の2年生で、女子サッカー部に所属。日々部活動に励んでいます。2人が所属する山形城北高校女子サッカー部は、昨年10月に行われた山形県大会で優勝。その後出場した東北大会で予選を勝ち抜いて、「全日本高校女子サッカー選手権大会」への初出場を果たしました。全国大会では、惜しくも1回戦敗退となりました。



安藤理紗さん(左)と柏倉ななさん(右) 貴重な休目にもかかわらず、笑顔で取材に応じてくださいました。

いきましたが、2人は「全国大会の雰囲気を感じるこどができたし、それぞれのチームの試合を間近で見ると全国のレベルを思い知った。精神面と技術面をさらに磨いて、来年の出場に向けてこれからも練習に励みたい」と意気込みを語ってくれました。今後の活躍を期待して、安藤さんと柏倉さんを応援しましょう。



中学校ではソフトボール部に所属していたという2人。「高校生になったら新しいことを始めたい」と思い、女子サッカー部に入部。サッカーについての知識も経験もなかった2人は、経験者に追いつきたい、試合に勝ちたいという思いで練習に励んだそうです。



全国大会出場時の写真

第2回区長懇談会を実施



1月18日、今年度2回目となる区長懇談会が中央公民館で開催されました。

懇談会には各地区の区長、大津町長、石川教育長、町の各課長・事務局長が出席。はじめに大津町長が、今年は中山中学校全面改築に向けた設計業務が予定されているなど、大型事業が始動する年であることなどに触れ、「町の発展には町民との協働が不可欠である」と各地区区長に町政への理解と協力を呼びかけました。

懇談会では町から区長へ行政連絡が伝えられ、続いて行われた区長連絡協議会では今年度の事業経過などが報告されました。

住みよい町づくりやそれぞれの地区の課題の解決には区長だけでなく町民の皆さんの協力が不可欠です。町民の皆さんの活動・運営等に対して、区長へのご協力をお願いします。